資料３－４

ヒシ除去量増加に向けた新たな仕組みの構築事業について

諏訪湖環境研究センター

１　目　　的

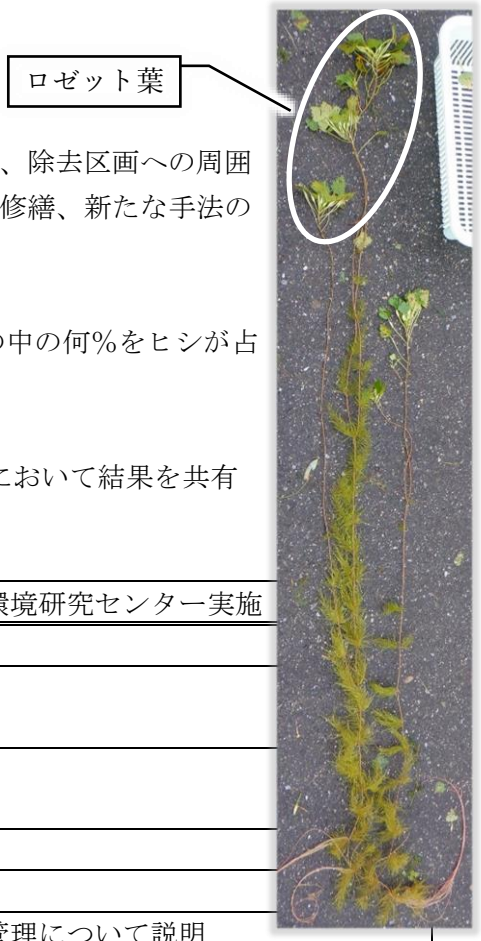
総合５か年計画及び諏訪湖創生ビジョン（改定版）に位置付けられているヒシ除去量の増加に向けた新たな仕組みづくりとして、簡便かつ費用のかからない方法によるヒシ除去を試行的に実施し、効果を検証する。

【主なヒシ繁茂のマイナス面】
過密化による貧酸素化、船の航行障害、景観の悪化

【主なヒシ繁茂のプラス面】
栄養塩類の吸収、野鳥のエサ場・魚類等の産卵場所になる

⇒ 生態系のバランス、繁茂場所の状況、除去の目的を明確にし、計画的に除去

２　概　　要



(1) 新たな手法の試行

ヒシの実のつくロゼット葉の除去を試行的に実施するとともに、除去区画への周囲からのヒシの実の流入を防ぐため、設置網を設置。必要に応じて修繕、新たな手法の効果が確認された段階で設置網を撤去

(2) 新たな手法の評価

試験区内のヒシの被度を測定し、前年度と比較（1m×1m の枠の中の何%をヒシが占めているかを６段階で評価）

(3) 結果のとりまとめ及び共有

諏訪湖の水草対策ワーキンググループ（以下「WG」という。）において結果を共有

３　これまでの経過及び今後の予定

日程	諏訪地域振興局環境課実施	諏訪湖環境研究センター実施
令和５年５月	WG 設置	
６月～８月	**先行事例調査 試行の実施団体公募、契約**	
９月	**設置網設置（委託） ロゼット葉除去試行**	
11 月	**結果のとりまとめ**	
令和６年１月	**第１回 WG にて結果共有**	
５月	第２回 WG 開催	順応的管理について説明
８月		**除去後の効果調査 ロゼット葉除去継続**
９月		**除去後の効果調査 ロゼット葉除去継続（再繁茂分）**
10 月	第３回 WG 開催	ロゼット葉除去の効果を共有
令和７年３月	第４回 WG 開催	
６月（予定）	第５回 WG	ゾーニングの提案
８月（予定）		**除去後の効果調査 ロゼット葉除去継続（再繁茂の場合）**
９月（予定）		**除去後の効果調査 ロゼット葉除去継続（再繁茂分）**
10 月（予定）		**設置網撤去（委託） （再繁茂の場合はＲ８以降も継続）**

（白字部分は地域振興推進費事業）